

科目名 Subject Name	Speaking Skills IB														
科目名(英) Same as Above	Speaking Skills IB														
単位数 Credits	3			時間数 Hours		45		担当者 Instructor		Ian Dagnall, Scott Clark, Jason Heliopoulos, Laurel Pegler, Andy Highcock, Keith Kelly,					
実施年度 Year	2020			実施時期 Semester		後期		実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area							
対象学科・学年 Class	International Business 1														
授業概要 Subject Description	1. Students can improve their English proficiency. 2. Students can gain more confidence in using English. 3. Students can gain English skills for living abroad, work and proficiency tests.														
授業形式 Class Format	講義: Lecture			△		演習: Practice		○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標 Targets									
	○	○				Students can improve their English proficiency.									
	○	○				Students can gain more confidence in using English.									
	○	○		○		Students can gain English skills for living abroad, work and proficiency tests.									
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Pre-intermediate A														
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents								授業外学修指示 Preparation and Review					
	1	Summer Holidays								none					
	2	Teacher's lesson								none					
	3	Unit 4.1								Preview lesson materials					
	4	Unit 4.2								Preview lesson materials and review previous lesson					
	5	Unit 4.3								Preview lesson materials and review previous lesson					
	6	unit 4.4								Preview lesson materials and review previous lesson					
	7	Unit 4.5 Review								Preview lesson materials and review previous lesson					
	8	Halloween Prep								Preview lesson materials and review previous lesson					
	9	Unit 5.1								Preview lesson materials and review previous lesson					
	10	Halloween Lesson / Unit 5.2								Preview lesson materials and review previous lesson					
	11	Unit 5.3								Preview lesson materials and review previous lesson					
	12	Halloween Lesson / Teacher's lesson								Preview lesson materials and review previous lesson					
	13	Unit 5.4								Preview lesson materials and review previous lesson					
	14	Halloween Lesson / Unit 5.5 Review								Preview lesson materials and review previous lesson					
	15	Unit 6.1								Preview lesson materials and review previous lesson					
	16	Unit 6.2								Preview lesson materials and review previous lesson					
	17	Christmas Lesson								Preview lesson materials and review previous lesson					
	18	Unit 6.3								Preview lesson materials and review previous lesson					
	19	Unit 6.4								Preview lesson materials and review previous lesson					
	20	Christmas Lesson Prep								Preview lesson materials and review previous lesson					
	21	Speaking Test Practice								Preview lesson materials and review previous lesson					
	22	Speaking Test Practice								Preview lesson materials and review previous lesson					

	23	Speaking Test (Test Period)				none	
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test – 50% (2) In-class Tasks – 50% The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 7 classes.						

科目名 Subject Name		English Recitation										
科目名(英) Same as Above		English Recitation										
単位数 Credits		1		時間数 Hours		20		担当者 Instructors		Ian Dagnall/ Keith Kelly/Jason Heliopoulos/ Andy Highcock		
実施年度 Year		2020		実施時期 Semester		後期		実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area				
対象学科・学年 Class		International Business 1										
授業概要 Subject Description		1. Students can develop public speaking skills. 2. Students can develop their pronunciation skills. 3. Students can increase their public speaking confidence.										
授業形式 Class Format		講義: △ Lecture			演習: ○ Practice		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus		言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標 Targets					
		○	○				Students can develop public speaking skills.					
		○	○				Students can develop their pronunciation skills.					
		○	○				Students can increase their public speaking confidence.					
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References		Handouts										
授業計画 Class Schedules and Contents		回数	授業項目・内容 Topics and Contents					授業外学修指示 Preparation and Review				
		1	Course Introduction									
		2	Test lines 1- 4 Memorization lines 5 -10					Students complete unfinished tasks for homework				
		3	Test lines 1 -10 Memorization lines 11 -16					Students complete unfinished tasks for homework				
		4	Test lines 1- 16 Memorization lines 17 -20					Students complete unfinished tasks for homework				
		5	Test lines 1- 20 Memorization lines 21 -24					Students complete unfinished tasks for homework				
		6	Test lines 1- 24 Memorization lines 25 -28					Students practice presentations				
		7	Test lines 1- 28 Memorization lines 29-32					Students practice presentations				
		8	Test lines 1- 32 Memorization lines 33 -36					Students make presentations				
		9	In class competition					Students make presentations				
		10	Recitation Contest					Students make presentations				
評価方法 Assessment Method		Students evaluation: (1) In-class Tasks- 50% (2) Presentation - 50% The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)										
				言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Eagerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment			
		小テスト In-class Tasks		○	○				50%			
		発表・作品 Presentation/Works		○	○				50%			
履修上の注意 Remarks		Students will not receive a grade if they miss more than 3 classes.										

科目名	MOS演習 I B						
科目名(英)	MOS I B (PowerPoint)						
単位数	3単位		時間数	45		担当者	宮原 裕花 平井 智子
実施年度	2020年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	タイピング練習にて、正確で速いタイピング技術を身につける。 PowerPointの基本操作を学び、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるようにする。 また、MOS PowerPoint対策問題の演習を通じて、応用力を養い、MOSの合格を目指す。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			正確で速いタイピングができる。	
	○	○				プレゼンテーションの作成と管理、テキスト、図形、画像の挿入と書式設定ができる。	
	○	○				表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入ができる。	
	○	○				画面切り替えやアニメーションの適用ができる。	
	○	○				複数のプレゼンテーションの管理ができる。	
テキスト・教材 参考図書	FOM出版 MOS PowerPoint 2016 対策テキスト&問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(1)			16	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(1)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	2	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(2)			17	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(2)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	3	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(3)			18	模擬問題(1)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	4	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(4)			19	模擬問題(2)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	5	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(5)			20	模擬問題(3)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	6	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(1)			21	模擬問題(4)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	7	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(2)			22	模擬問題(5)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	8	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(3)			23	模擬問題(6)	テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	9	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(4)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	10	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(1)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	11	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(2)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	12	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(3)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	13	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(1)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	14	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(2)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	15	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(3)					テキストの該当範囲に目を通しておくこと
評価方法	(1)タイピング速度の記録を取る。(2)テキスト、各章ごとの確認テストを行う。(3)検定試験(MOS)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	検定試験(MOS)	○	◎	○			50%
	確認テスト	○	◎	○			20%
	タイピング技能			◎			30%
履修上の注意	PC教室の整理・整頓に留意すること。						

科目名	英語検定対策(TOEIC) I B				
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田 菜穂・野々村 賢一
実施年度	2020年	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるBレベルTOEIC730点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	○			目標 社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・商談を始める前のアイスブレイキングで用いられる一般的な話題(天候、最近の出来事等)について、理解することができる。
	○	○			社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・電話がかかってきた際に相手の名前を聞き、担当者に取り次ぐことができる。
	○	○			英語の履歴書を作成することができる。(書く)
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	導入、夏休み明け復習テスト			
	2	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(品詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	3	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	4	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(時制)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	5	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	6	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	7	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	8	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(前置詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	9	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	10	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(関係詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	11	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	12	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(仮定法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	13	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	14	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(コロケーション)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	15	TOEIC対策 Part5 & Part6 語彙			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	16	TOEIC対策 Part5 & Part6 実践 解答 & 解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	17	中間テスト(TOEIC)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	18	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	19	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)、リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	20	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	21	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)、リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	22	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	23	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)、リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	24	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	25	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)、リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	26	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

	27	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)、リスニング対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	29	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	30	学期総括、Cover letter&Resume	USBを持参すること				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。(12月実施) 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	TOEIC	◎	○				40%
	単語テスト	◎	○		○		5%
	Cver letter&Resume提出	◎	○				5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策 I B										
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I B										
単位数	4単位			時間数		60時間		担当者		石田 小雪	
実施年度	2020年度			実施時期		後期		担当者実務経験		外国語関連教育企業にて 数か国のネイティブと勤務	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年										
授業概要	今まで身につけた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようになるためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を駆使できるようになることを目指す。										
授業形式	講義：△			演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト 直前の技術、TOEICテスト新形式精選模試L&R										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文・会話文 短文の語句空所補充)									
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	5	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	7	英検リーディング(E長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	8	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	9	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	10	英検模擬試験 問題1 筆記					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	11	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	12	TOEIC 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	13	英検本試験解説 大問1					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	14	英検本試験解説 大問2					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	15	英検本試験解説 大問3					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	16	英検本試験解説 モデルライティング練習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	17	TOEIC 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	18	TOEIC 語彙、Part5、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	19	英検2級本試験結果分析フィードバック、ライティング10問、英検2級攻略法					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	22	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	24	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	25	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
27	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと					

	28	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめおよび期末試験対策	前回までの復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策 I B				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	稲垣明子・村上正雄・岡本彩
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			目標
	○	○			説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			対面での会話や電話での会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
テキスト・教材 参考図書					
英語検定準2級過去問、TOEIC公式問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			
	2	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	英検模擬試験 問題1 筆記			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	TOEIC 語彙、Part5、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	英検本試験解説 大問1			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	英検本試験解説 大問2			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	英検本試験解説 大問3			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	英検本試験解説 大問3			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	英検本試験解説 モデルライティング練習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	23	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	24	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	25	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。

	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	後期のまとめ	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B										
科目名(英)	General English I B										
単位数	3単位			時間数	45		担当者	石田 小雪			
実施年度	2020年度			実施時期	後期		担当者実務経験	語学教育企業にて 数か国のネイティブと勤			
対象学科・学年	海外ビジネス科1年										
授業概要	英語の基本となる品詞と5文型を正しく使用し、より複雑な英文を作成できるようになる。、品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことで、検定取得や会話力向上に必要な英語の運用能力を高める。										
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標					
	○	○				英文読解に必要な基本的文法が理解できる。					
	○	○				分詞、比較、態を使用した英文を作ることができる。					
	○	○				関係詞、仮定法、分詞構文を使用した英文を作ることができる。					
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	クラス概要の説明、前期の復習（品詞、文型、不定詞と動名詞）									
	2	分詞①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	3	分詞②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	4	比較①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	5	比較②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	6	態①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	7	態②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	8	態③					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	9	関係詞①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	10	関係詞②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	11	関係詞③					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	12	関係詞④					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	13	仮定法①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	14	仮定法②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	15	仮定法③					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	16	仮定法④					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	17	仮定法⑤					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	18	分詞構文①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	19	分詞構文②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	20	分詞構文③					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	21	分詞構文④					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	22	分詞構文⑤					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	後期まとめ					前回までの復習を行って授業に臨むこと				
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点、400点未満を点70点とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。										

評価方法	成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B					
科目名(英)	General English I B					
単位数	3単位		時間数	45	担当者	岡本 彩
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	英語の基本となる品詞と5文型を正しく使用し、より複雑な英文を作成できるようになる。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことで、検定取得や会話力向上に必要な英語の運用能力を高める。					
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				英文読解に必要な基本的文法が理解できる。
	○	○				不定詞と動名詞を使い分けができる。
	○	○				分詞、比較、態を使用した英文を作ることができる。
	○	○				関係詞を使用した英文を作ることができる。
テキスト・教材 参考図書	基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル・ステップアップ英文法基礎					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	オリエンテーション、前期の復習				
	2	接続詞①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	接続詞②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	不定詞①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	不定詞②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	不定詞③				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	動名詞①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	動名詞②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	分詞①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	分詞②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	比較①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	比較②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	比較③				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	態①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	態②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	態③				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	関係詞①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	関係詞②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	関係詞③				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	関係詞④				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	関係詞⑤				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	関係詞⑥				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	後期まとめ				前回までの復習を行って授業に臨むこと
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3)品詞テストを8回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。					

評価方法	成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	品詞テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B										
科目名(英)	General English I B										
単位数	3単位			時間数	45		担当者	村上 正雄			
実施年度	2020年度			実施時期	後期		担当者実務経験	外資系翻訳会社にて 数か国のネイティブと勤			
対象学科・学年	海外ビジネス科1年										
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。また、TOEIC Part5・7問題演習を通じて、品詞と5文型の知識を実践する。										
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。					
	○	○				5文型を使い分けることができる。					
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。					
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。					
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割									
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	3	第三文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	4	第一文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	5	第四文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	6	第五文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	7	第二文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	8	第三文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	9	第一文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	10	第四文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	11	第五文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	12	五文型 確認テスト					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	13	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	14	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	15	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	16	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	17	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	18	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	19	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	20	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	21	TOEIC Part7 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	22	TOEIC Part7 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	期末テスト前復習					前回までの復習を行って授業に臨むこと				
(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を70点以下とする。 (3) 小テストを実施する。											

評価方法	以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B					
科目名(英)	General English I B					
単位数	3単位		時間数	45	担当者	野々村 賢一
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。					
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解し、説明することができる。
	○	○				文型ごとの動詞を使って、文を作ることができる。
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。
	○	○				不定詞と動名詞を使い分けすることができる。
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割				
	2	品詞と文型 第2文型				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	品詞と文型 第2文型				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	品詞と文型 第3文型				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	品詞と文型 第1文型				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	品詞と文型 第1文型、第4文型				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	品詞と文型 第4文型と第3文型				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	品詞と文型 第5文型①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	品詞と文型 第5文型②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	5文型を使って自己紹介文30文作成				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	なぜ5文型の把握が大切なのか①英語が複雑になる3大理由①修飾語				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	3つの構成単位:語・句・節				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	句と節の対処法:句・節の「範囲」を把握し、()でくくる				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	なぜ5文型の把握が大切なのか?②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	句・節の「役割」を特定する				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	なぜ5文型の把握が大切なのか③				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	読解問題①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	読解問題②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	準動詞の概要:To V とing				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	不定詞の名詞的用法:問題と読解				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	不定詞の形容詞的用法:問題と読解				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	不定詞の副詞的用法:問題と読解				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	まとめ				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。						

評価方法	成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B							
科目名(英)	General English I B							
単位数	3単位		時間数	45		担当者	今長 まゆみ	
実施年度	2020年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	航空会社にて地上職員として勤務	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年							
授業概要	TOEICや英検、日常会話の基本は中学英語にある。 前期授業に続き、英語文法を基礎からやり直し、日常生活において話す、聞く、読む、書くための基礎的な力を身につけることを目指す。							
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				自分の身の回りのことを説明することができる。(話す)		
	○	○				相手の話すことを聞いて、理解することができる。(聞く)		
	○	○				簡単な説明文やメールなどを読み、その内容を理解することができる。(読む)		
	○	○				自分の身の回りのことを文章で説明することができる。(書く)		
テキスト・教材 参考図書	中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく、中学英語基礎がため100%、その他							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	Ⅱ S4(There is,are～)の文、S5-1(未来の文①) be going to				プリント類を整理するファイルを準備しておくこと		
	2	S5-2(未来の文②) will、S6-1(助動詞①) may/must				間違えた問題を再度確認すること		
	3	S6-2(助動詞②) Will you? /Shall I?/Shall we?、S6-3(助動詞③) could, should, have to, be able to				間違えた問題を再度確認すること		
	4	S7-1(不定詞・動名詞①) 名詞的用法、S7-2(不定詞・動名詞②) 副詞的用法				間違えた問題を再度確認すること		
	5	S7-3(不定詞・動名詞③) 形容詞的用法、S7-4(不定詞・動名詞④) 動名詞				次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	6	まとめテスト③④(S4,5,6,7)、S8(会話表現//命令文)				間違えた問題を再度確認すること		
	7	S10-1(受動態①肯定文)、S10-2(受動態②否定文・疑問文)				次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	8	まとめテスト⑤⑥、S11-1(代名詞・名詞・数量形容詞・副詞①)、				間違えた問題を再度確認すること		
	9	S11-2(代名詞・名詞・数量形容詞・副詞②)、S12-1(接続詞・前置詞①)、				間違えた問題を再度確認すること		
	10	S12-2(接続詞・前置詞②)、S12-3(接続詞・前置詞③)				間違えた問題を再度確認すること		
	11	S13-1(現在完了①肯定文)、S13-2(現在完了②「経験」の否定文・疑問文)				次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	12	まとめテスト⑦⑧(S11,12,13)、Ⅲ S1-2(現在完了②「継続」の否定文・疑問文)				間違えた問題を再度確認すること		
	13	総合テスト①②、S1-3(現在完了③「完了・結果」の肯定文・否定文・疑問文)				間違えた問題を再度確認すること		
	14	テストFB、S1-4(現在完了④「副詞(句)などのまとめ//注意すべき現在完了)				間違えた問題を再度確認すること		
	15	S2-2(受動態②いろいろな受動態)、まとめテスト①②(S1,2)				間違えた問題を再度確認すること		
	16	S3-1(分詞・動名詞①現在分詞・過去分詞)、S3-2(分詞・動名詞②動名詞)				間違えた問題を再度確認すること		
	17	S4-1(不定詞①基本3用法)、S4-2(不定詞②疑問詞+to//tell +目的語+to)				間違えた問題を再度確認すること		
	18	まとめテストFB、S4-3(不定詞③It to, //too to/enough toなど)				次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	19	まとめテスト③④(S3,4)、S5-1(接続詞①等位接続詞)				間違えた問題を再度確認すること		
	20	S5-2(接続詞②従位接続詞)、S6-1(関係代名詞①主格who, which, that)				間違えた問題を再度確認すること		
	21	まとめテストFB、S6-2(関係代名詞②③目的格which, that、関係代名詞の省略)				次回まとめテストの準備のため、復習しておくこと		
	22	まとめテスト⑤⑥(S5,6)、正試験対策復習問題				間違えた問題を再度確認すること		
	23	正試験対策復習問題				間違えた問題を再度確認すること		
(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)学内でTOEIC(IP)を実施する。470点以上を80点、400点未満を75点以下、または70点以下とする。(3)授業中、まとめテストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験			◎	◎				60%
TOEIC(IPテスト)			◎	◎				20%

科目名	観光業界概論①						
科目名(英)	Overview of Tourism Industry						
単位数	1単位		時間数	20時間(内10時間)		担当者	八尋 隆志
実施年度	2020年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	旅行会社にて外国人旅行部で勤務
対象学科・学年	海外ビジネス科 1年						
授業概要	観光業界についての関心と理解を深め、多くの観点から幅広い知識を習得する。 特に旅行業界の特徴や最新のトレンドを学び、観光産業で働くイメージを掴み、就活準備に備える。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標	
	○	○				観光業界の多様な職種と旅行会社の様々な業務の特徴について学ぶことができる。	
	○	○				旅行業界の専門用語を覚え、実践の場で活かすことができる。	
		○				旅行業界に求められる人材及び取得できる資格について学ぶことができる。	
	○					九州観光マスター検定試験問題を学ぶことができる。	
テキスト・教材 参考図書	JATA、オリジナルプリント、旅行パンフレット						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	・旅行会社の形態と主な企業紹介、現在の旅行会社の展望					
	2	添乗員の仕事、カウンター業務の概要理解と旅行業界の接客ポイント				前回の授業内容を復習しておくこと	
	3	海外パンフレットの内容分析、パンフレットの見方航空運送事業の歴史と近年の動向について				前回の授業内容を復習しておくこと	
	4	過去の旅行会社関連求人と実際の試験内容について、旅行業界の専門用語				前回の授業内容を復習しておくこと	
	5	定期テスト				これまでの授業内容を総復習し、確認テストに備えておくこと	
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1) 定期テスト(筆記)を実施する。 (2) 本科目の最終評価は観光概論②と合算し、評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期テスト	◎	○				70%
	小テスト	◎	○				30%
履修上の注意	出席率が総授業コマ数の2／3以上の場合、定期試験の受験資格を与える。						

科目名	観光業界概論②						
科目名(英)	Overview of Tourism Industry						
単位数	1		時間数	20時間(内10時間)		担当者	秋満 陽子
実施年度	2020年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	海外ビジネス科 1年						
授業概要	航空運送事業についての関心と理解を深め、多くの観点から幅広い知識を習得する。 航空業界の特徴や最新のトレンドを学び、航空ビジネス産業で働くイメージを掴み、就活準備に備える。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					航空業界の多様な職種と業務内容を学び、それぞれの特徴を説明することができる。	
	○					航空運送事業の歴史と近年の動向を学び、理解することができる。	
		○				航空・旅行業界の専門用語や略語を覚え、使用する場面を理解することができる。	
	○					マイレージプログラムやアライアンスなど、航空会社の最新の取り組みを学ぶことができる。	
テキスト・教材 参考図書	航空業界ガイドブック、航空産業入門、その他配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	航空業界の多様な職種と業務について					
	2	航空運送事業の歴史と近年の動向について				前回の授業内容を復習しておくこと	
	3	航空業界用語を使ってみよう				前回の授業内容を復習しておくこと	
	4	航空会社の特徴や最新の取り組みについて				前回の授業内容を復習しておくこと	
	5	学科総括 期末テスト				これまでの授業内容を総復習し、期末テストに備えておくこと	
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)定期テスト(筆記)を実施する。 (2)本科目の最終評価は観光概論①と合算し、評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席率が総授業コマ数の2/3以上の場合、定期試験の受験資格を与える。						

科目名	商業簿記Ⅰ					
科目名(英)	Book Keeping Ⅰ					
単位数	3単位	時間数	45	担当者	池前 むつみ	
実施年度	2020年	実施時期	後期	担当者実務経験	企業にて経理担当として勤務	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年					
授業概要	ビジネスパーソンに必須の基本知識である、日商簿記検定3級の資格取得が最終目標です。 お金の流れ＝簿記であるように、日々の取引の中でうまれたお金はどのように管理しているのか、また、管理していくのかを学びます。					
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				日々の取引の仕訳を行い、総勘定元帳への転記を行うことができる。
	○	○				補助簿や補助元帳の作成と試算表を作成することができる。
		○				決算整理を行い、精算表と財務諸表の作成をすることができる。
		○				帳簿の締め切りを行うことができる。
テキスト・教材 参考図書	実教出版日商簿記ゼミ3級教本・問題演習最新版 TAC出版究極の仕訳集日商簿記3級最新版					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	0簿記の学習にあたり 1.簿記の基礎 1-1簿記の目的と種類まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	2	1簿記の基礎 1-3簿記のしくみ(取引まで)				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	3	1簿記の基礎 1-3簿記のしくみ				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	4	2期中取引の仕訳 2-1現金取引				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	5	2期中取引の仕訳 2-2銀行預金取引				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	6	2期中取引の仕訳 2-3小口現金取引				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	7	2期中取引の仕訳 2-4商品売買取引				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	8	2期中取引の仕訳 2-4商品売買取引				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	9	2期中取引の仕訳 2-5掛け取引				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	10	2期中取引の仕訳 2-7手形取引まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	11	2期中取引の仕訳 2-9その他の債権・債務取引まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	12	確認テスト(仕訳)				これまで学習した仕訳の確認テストを実施するので、復習しておくこと。
	13	2期中取引の仕訳 2-11訂正仕訳まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	14	2期中取引の仕訳 3株式会社の会計 3-2剰余金の配当と処分まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	15	1簿記の基礎(試算表) 1-4試算表				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	16	確認テスト(試算表)				試算表のテストを実施するので、復習しておくこと。
	17	4決算(1)決算整理 4-4貸倒引当金の設定まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	18	4決算(1)決算整理 4-8その他の決算整理事項まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	19	5決算(2)精算表 5-1精算表の作成				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	20	6決算(3)主要簿の締め切り 6-2仕訳帳の締め切りまで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	21	7決算(4)損益計算書と貸借対照表 7-2貸借対照表の作成まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	22	8伝票 8-3伝票からの転記まで				教本の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	23	総復習				これまでの復習をするので、質問したい問題等をまとめておきましょう。
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)授業の中で確認テストを2回実施する。 (3)課題と宿題の提出状況より。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				80%
	確認テスト2回	○	◎				10%
	課題と宿題		○				10%
履修上の注意	<p>電卓(商業用)を使います※スマートフォン等での代用は一切認めません。簿記は反復練習がとても大切です。問題を解けば解くほど力がつきます。自宅学習(宿題)に進んで取り組みましょう。</p>						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	20時間		担当者	市原 美智子
実施年度	2020年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	「全国通訳案内士」(2014年～現在)「くもん講師」(2年)児童英語講師(15年)
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治においての基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、第3回実力テスト					
	2	ROUND8				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND9				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	ROUND10				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND11				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	第4回実力テスト、ROUND12				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND12／13				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	ROUND14				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	9	ROUND15				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	10	まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	○				10%
	宿題・レポート	○	○				10%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)	Social Study I B						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	稲垣明子・石田小雪
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年						
授業概要	社会人としての基礎知識を学ぶとともに社会人基礎力を養成し、就職活動の主となる面接に臨む姿勢を身に付ける。希望する業界の動向や社会のトレンドを知り、就職活動に向け具体的な準備を行う。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		就職活動準備に向けて、自ら情報集を行い、希望職種についての理解を深める。	
	○	○				自分の言葉で考えを伝えることができる。	
				○		社会人として必要な身だしなみやマナーを実践できる。	
				○		将来の目標を明確にし、主体的に活動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	特になし。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、就職活動概要				就職について具体的に考えてくること	
	2	就職するということを考える				求職票の下書きを作成して臨むこと	
	3	業種・職種を知ろう					
	4	自己分析および求職票準備				自分の強みを文章でまとめておくこと。	
	5	自己分析および求職票準備				趣味・特技・アルバイトについて文章でまとめておくこと。	
	6	業界分析および求職票準備					
	7	求職票受付面接予行練習					
	8	求職票受付面接予行練習					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)後期中に2回作文を提出する。(2)その他提出物の期限を遵守する。(3)自分の考えを積極的に発言する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文提出状況	○	○		○		80%
	履歴書・求職票作成	○	○		○		10%
	発表・発言	○			○		10%
履修上の注意							
	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。上記以外の時間帯で面接練習を実施する予定あり。その際は時間を調整して参加すること。						

科目名	韓国語基礎B							
科目名(英)	Korean Basic B							
単位数	2		時間数	30		担当者	水早 真弓	
実施年度	2020		実施時期	後期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	海外ビジネス科 1年							
授業概要	前期に学習した基礎をもとに、基本的な韓国語文法や会話を習得する。 固い言い方の「フォーマル体」や普段使いの「カジュアル体」を学び、また、聞き取りの練習をし、より自然な会話ができるように学習をしていく。							
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				「フォーマル体」・「カジュアル体」を正しく書くことができる。		
	○	○				漢数詞・固有数詞を理解し、正しく読み書きができる。		
	○	○				会話を聞き、韓国語を正しく聞き取ることができる。		
	○	○	○			基本的な文法を習得し、会話ができる。		
テキスト・教材 参考図書	・自作資料 ・基礎から学ぶ韓国語講座 初級							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	第6課 「します／しますか」(カジュアル体)				習った部分を復習する。		
	2	第6課 「します／しますか」(カジュアル体)				習った部分を復習する。		
	3	第7課 動詞・形容詞(フォーマル体)				習った部分を復習する。		
	4	第8課 動詞・形容詞(カジュアル体)				習った部分を復習する。		
	5	小テスト				授業前: 1～3課をテストに備えて覚える。		
	6	第9課 漢数詞				習った部分を復習する。		
	7	第10課 固有数詞				習った部分を復習する。		
	8	第11課 尊敬形				習った部分を復習する。		
	9	小テスト				授業前: 1～3課をテストに備えて覚える。		
	10	第12課 否定形				習った部分を復習する。		
	11	第13課 過去形				習った部分を復習する。		
	12	第14課 勧誘形				習った部分を復習する。		
	13	小テスト				授業前: 1～3課をテストに備えて覚える。		
	14	第15課 現在進行形				習った部分を復習する。		
	15	第15課 現在進行形 + 後期の総復習				習った部分を復習し、期末試験に備える。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎		◎				80%
	小テスト(3回)	◎		◎	◎			20%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	中国語基礎B						
科目名(英)	Chinese Basic B						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	陳金陵 王 波
実施年度	2020年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	海外ビジネス1年						
授業概要	常用する単語を覚えさせると共に、基本的な文法をあわせて習得させる。又、中国語の授業を通じて、中国の文化、習慣に関心をもたせ中国の理解を増進させる。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	○			単語を使い簡単な文法の応用、簡単な会話ができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめの一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	復習				習った単語と文型を復習	
	2	第一課の単語				単語の暗記	
	3	第二課の単語				単語の暗記	
	4	指示代名詞				プリント②を暗記	
	5	文型：A＋是＋B 単語を使い会話				文型と単語の復習	
	6	本文と会話 練習				本文を理解し、暗記	
	7	第三課の単語				単語の暗記	
	8	動詞“有”				文型と単語の復習	
	9	“是”と“有”の文の会話				文型と単語の復習	
	10	疑問詞：“呢”				使いこなす	
	11	常用動詞：听、看、写＋名詞				動詞＋名詞の暗記	
	12	動詞の復習と会話				復習	
	13	常用動詞：喝、吃、买＋名詞				動詞＋名詞の暗記	
	14	動詞の復習と会話				復習	
	15	口頭試験					
評価方法	(1)正試験(筆記)を実施する。(2)授業内で口頭試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	口頭試験	○	○	○			20%
履修上の注意	出席が15回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Intensive English Learning Program				
科目名(英)	Intensive English Learning Program				
単位数	10	時間数	150時間	担当者	QQ English
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	海外ビジネス科1年				
授業概要	英語で必要となる4技能(読む・書く・聞く・話す)をマンツーマンレッスンなどの少人数制授業で伸ばします。また4倍の速さで英語が伸びるといわれているカランメソッドの導入により、結果にコミットできる授業を展開していますので、効果的に英語力をアップさせることが目標です。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○	○	○	
	目標				
	To cultivate students' globalized mind and international etiquette				
	To motivate students to study English and to make them confident about the language				
	To investigate students' knowledge and experience about their preferable major				
学習目標 (到達目標)	To improve students' English proficiency and delivery skills				
テキスト・教材 参考図書	QQ English オリジナルテキスト				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	Orientation and Placement Test			
	2	QQE Basic			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	3	Speaking			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	4	Listening			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	5	Reading			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	6	Pronunciation			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	7	Callan Method			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	8	Lexicon			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	9	Topic Conversation			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	10	Travel English			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	11	TOEIC			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	12	Students are allocated in the suitable lessons depending on their levels. In order to strengthen certain English skills, same curriculums are repeated intensively. 6 hours one-on-one lessons + 2 group lessons + 2 service group lessons per day x 4 weeks for the entire curriculum.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	13				Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
					Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	75	Level check test and Graduation			
		【QQE Basic】 The students will become accustomed to the specific English 'sound' that Japanese people tend to be weak with.			
		【Speaking】 The students will learn vocabulary and expressions that are frequently used in daily life.			
		【Listening】 This curriculum lets students develop the ability to listen. It also includes topics such as conversations at restaurants, product introductions, and business scenes.			
		【Reading】 The students will attain the skill of reading comprehension. Using various topics from diverse areas, the students will use context clues to find hints with the different types of forms to attain understanding skills.			

	<p>【Pronunciation】 By learning phonetic symbols, this curriculum corrects the “sounds” that Japanese people tend to be weak with. The tongue-twister practice allows students to clearly understand the differences in pronunciations.</p>						
	<p>【Callan Method】 This is a training method for English language schools created in London. The teachers throw questions at a good tempo, and the students answer with a high speed. This develops an English Brain for students that has no interference from Japanese.</p>						
	<p>【Lexicon】 This focus on developing to build students' vocabulary skills. By having conversations on single topics, students will mainly focus on learning idioms and phrases.</p>						
	<p>【Topic Conversation】 The students will share ideas with teachers about familiar topics, such as movies and health, and will improve their skill in being able to express their thoughts in English.</p>						
14	<p>【Travel English】 The students will learn about common situations that one comes across when travelling, such as how to interact at airports, hotels, restaurants and shops, along with how to ride trains, buses, etc. ...</p>						
15	<p>【TOEIC】 The curriculum consists of predicted TOEIC exam questions. Not only will students learn exam success techniques, but they will also strengthen their speaking skills.</p>						
評価方法	<p>(1)自分の考えを積極的に発言し、能動的に授業に参加する。 (2)課された課題、授業内テストに合格をする。 以上を下記の観点・割合で評価し、評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Attendance				○		100%
	In-class test	○	○		○		
	Assignment Submission	○			○		
履修上の注意	留学中の出席が3分の2に満たない場合は単位を付与しない。						